



新たな日常の創造

校長 佐藤 興二

明正スポーツの会では、コロナ禍では初めて2学年合同の開催となり、子ども同士にとってもよりよい経験となり、また、多くの方にご覧いただき、実りあるものとなりました。保護者の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

変化していく日常

通勤電車の広告にとっても気になるものがありました。それは、コロナ禍でも元気に生活しようというもので、写真家のエリック氏の作品とコメントが流れるものです。エリック氏は、ストリートで出会う人々を至近距離で撮影をすることを得意とする写真家で、その作品には、被写体となった人物の内面を映し出しているものが多くあります。その広告の中でエリック氏は、マスクをしている若者の写真とともに、「日常が壊れてしまったとは思わない。新しい日常になったと感じています。マスクも新しいファッションアイテムが一つ増えたってことです。」と言っています。変化していく日常をマイナスと捉えるのではなく、プラスに考えていく思考こそが、変化の激しい社会に適応し、新たな価値を創造していくものだと感じました。

変容する教育活動

学校も、手洗い・うがいや三密を避ける、マスクの着用等新しい生活様式が定着しています。また、コロナ禍では中止となったり、形を変えたりして実施した行事がありました。常に社会状況に応じて学校行事も変化してきました。これまで通りではありませんが、これまでと遜色のない形で実施し、変化してきました。来年度は、5年生の臨海学校が、林間学校へと変化します。熱中症リスクなど様々な要因から見直され、山での活動に変わります。海でしか体験できないことはできなくなりますが、林間でしか味わえない活動ができます。新たな体験活動から、子どもたちは様々な価値を見いだすものと考えています。

これからの時代を創る

これまでの教育活動を見直し、新たな価値を見だし、常に変化・変容しこれからの教育活動が創られています。旧態依然としたやり方に疑問をもち、今の時代に即した活動へと変容させることが、今の教育には必要です。学校だけの考えではなく、子どもや保護者・地域からのアイデアが必要です。全ては子どもの成長のためを共通目標とし、共に新たな日常を創造し、新川のまちの子どもを育てられたらと願っています。

＜放課後に遊ぶときにはお金を持って行かない＞

保護者同伴の買い物を通して、正しい金銭感覚を身に付ける段階であると考えます。子どもがお金を使えるようにすると、友達とのトラブル（貸し借り・奢る奢られる）にもつながります。防犯上も安全とはいえません。ご理解の上、ご協力・ご指導の程お願いいたします。

6月の行事予定

- 1日(水)衣替え
安全指導
耳鼻科検査(2~6)
- 2日(木)読み聞かせ(下)
歯科検査(2・4・6)
- 3日(金)学力向上を図るための調査(5)
- 6日(月)委員会
体力テスト週間始
教育実習始
- 7日(火)体力テスト一斉実施
- 8日(水)耳鼻科検査(1)
- 9日(木)眼科検査(全)
- 10日(金)体力テスト週間終
- 13日(月)プール開き 5時間授業
- 14日(火)自転車シミュレーター(3)
プログラミング(5)
セカンドスクール保護者説明会
- 15日(水)避難訓練
教材費引き落とし日
- 16日(木)プログラミング(5)
水道キャラバン(4)
歯科検査(1・3・5)
- 17日(金)午前授業
歩行者シミュレーター(2)
学力向上を図るための調査(4)
- 18日(土)土曜授業
- 20日(月)クラブ活動
聴力検査(3・5)
- 21日(火)内科検査(1・5)
聴力検査(2)
- 22日(水)聴力検査(1)
- 23日(木)校外学習(2)
読み聞かせ(上)
- 24日(金)センター教室(3)
定期健康診断終
学校評議員会
教育実習終
- 27日(月)委員会活動
- 28日(火)館山説明会(5)
- 30日(木)校外学習(1)

6月の生活目標

健康や安全に気をつけよう

- ・たくさん友達と遊ぼう
- ・きまりを守って、安全に生活しよう
- ・ハンカチ、汗ふきタオルを身に
つけよう
- ・遊び場をゆずり合い楽しく遊ぼう